

高校入試 特訓テキスト

社会

標準編

近現代の歴史や第一次世界大戦～現代等の問題集
高校入試社会 | 特訓テキスト標準編

8

近現代の歴史

第一次世界大戦～現代

まとめ 次の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

1 第一次世界大戦と日本

第一次世界大戦…1914年に開戦。日本は日英同盟を理由に参戦し、中国に①〔 〕を出す。1919年、②〔 〕条約で講和。翌年、ウィルソンの提案で③〔 〕発足。ロシア革命…1917年、レーニンが指導。列強が干渉し日本はシベリア出兵。日本では米価が急上昇し、④〔 〕がおこる。民族運動の高まり…朝鮮では三・一独立運動、中国では反日・反帝国主義の⑤〔 〕。インドではガンディーが独立運動。大正デモクラシー…護憲運動がおこる。1918年、立憲政友会総裁の⑥〔 〕を首相とする政党内閣成立。1925年には25歳以上の男子に選挙権を与える⑦〔 〕法が成立するが、共産主義を取りしめるための⑧〔 〕法も成立。

2 第二次世界大戦と日本

世界恐慌…アメリカから世界に広がる。イギリスやフランスは①〔 〕政策、アメリカは②〔 〕(新規巻き直し)で対策。ドイツやイタリアではファシズムが台頭。軍国主義の台頭…1931年、関東軍が③〔 〕事変をおこす。1932年、④〔 〕事件で犬養毅首相暗殺。1933年、日本が国際連盟脱退。1936年、二・二六事件→軍部が台頭。日中戦争開戦翌年の1938年には⑤〔 〕法で戦時体制強化。第二次世界大戦…1939年に開戦。日本は日独伊三国同盟を結び、1941年には米英に宣戦して⑥〔 〕戦争開戦。日本の敗戦…1945年、沖縄で地上戦。広島・長崎に原子爆弾投下。ソ連が対日参戦。⑦〔 〕宣言を受諾して降伏。

3 現代の日本と世界

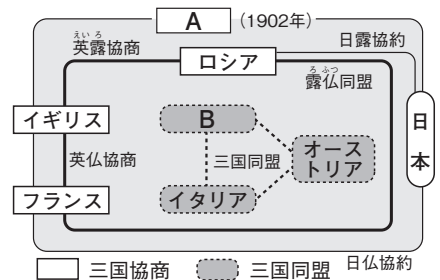
日本の民主化…財閥解体、農地改革。①〔 〕憲法公布。教育基本法や労働組合法、改正民法も制定。女性参政権実現。国際社会の動き…冷戦を背景に朝鮮やドイツに分断国家。朝鮮戦争の開戦翌年、②〔 〕平和条約で日本は独立回復。同時にアメリカと③〔 〕条約。1956年には日本とソ連の国交が回復し、日本の④〔 〕加盟が実現。経済の復興…朝鮮戦争で特需景気。⑤〔 〕とよばれる日本経済の目ざましい発展が始まり、1973年の石油危機まで続く。現代社会の課題…1989年、⑥〔 〕の壁が崩壊し、冷戦が終結。地域紛争・民族紛争が増加。地球規模の環境問題も発生。日本経済は⑦〔 〕経済崩壊後、長引く不況に突入。

時代	中国	朝鮮	主なできごと	世界のできごと
明治	清	大正	1882	三国同盟が成立
			1907	三国協商が成立
大正	日本	大正	1914	第一次世界大戦(～18)
			1915	中国に二十一か条の要求
			1917	ロシア革命
			1918	米騒動・原敬の政党内閣
			1919	ベルサイユ条約
			1920	国際連盟が発足
			1922	全国水平社が結成される
			1923	関東大震災がおこる
			1925	治安維持法が制定される
			1925	普通選挙法が制定される
昭和	日本	昭和	1929	世界恐慌
			1931	満州事変がおこる
			1932	五・一五事件がおこる
			1933	国際連盟を脱退する
			1936	二・二六事件がおこる
			1937	日中戦争(～45)
			1938	国家総動員法が制定される
			1939	第二次世界大戦(～45)
			1940	日独伊三国同盟を結ぶ
			1941	太平洋戦争(～45)
平成	中国	大正	1945	ポツダム宣言を受諾
			1946	日本国憲法が公布される
			1950	朝鮮戦争(～53)
			1951	サンフランシスコ平和条約
			1951	日米安全保障条約
			1955	アジア・アフリカ会議
			1956	国際連合に加盟する
			1972	沖縄が日本に復帰する
			1973	石油危機がおこる
			1978	日中平和友好条約を結ぶ
令和	中国	大正	1990	東西ドイツの統一
			1991	ソ連の解体
			1995	阪神・淡路大震災
			2001	アメリカで同時多発テロ
令和	中国	大正	2011	東日本大震災
			2021	東京オリンピック・パラリンピック

確認問題

1 〈第一次世界大戦と日本〉次の問いに答えなさい。

- (1) 右の図は、第一次世界大戦以前の国際関係を示している。A、Bにあてはまる語句や国名を答えなさい。



- A [] B []
- (2) 第一次世界大戦以前、紛争が絶えず、「ヨーロッパの火薬庫」とよばれていた半島はどこか。 []
- (3) レーニンの指導により、1917年におこった革命を何というか。 []
- (4) 1919年に朝鮮でおこった、日本からの独立を求める運動を何というか。 []
- (5) インドでガンディーが指導した運動は、どこの国からの独立運動か。 []
- (6) 大正デモクラシーの動きとしてあてはまるできごとを次から1つ選びなさい。 []
- ア 板垣退助が国会の開設を求めた。 イ 吉野作造が民本主義を主張した。
- ウ 民主主義的な教育基本法が制定された。 エ 20歳以上の男女に選挙権が与えられた。

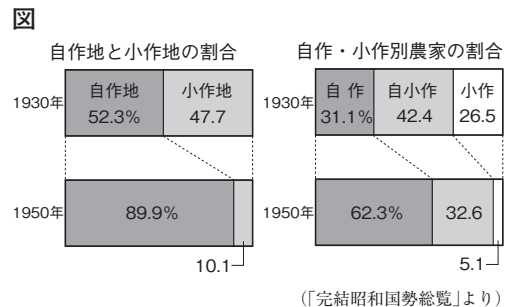
2 〈第二次世界大戦と日本〉次の問いに答えなさい。

- (1) ニューディールを行ったアメリカ大統領を次から1つ選びなさい。 []
- ア ウィルソン イ スターリン ウ ムッソリーニ エ ローズベルト
- (2) ヒトラーが率いた政党を3文字で何というか。 []
- (3) 1932年、日本が中国東北部に建国し、実質的に支配した国を何というか。 []
- (4) 右の写真は、1936年におこった、青年将校らによる反乱事件の様子を示している。この事件を何というか。 []
- (5) 1940年に日本が同盟を結んだ国を次から2つ選びなさい。 [] []
- ア イタリア イ イギリス ウ アメリカ エ ドイツ
- (6) 太平洋戦争中、空襲を避けるために都市部の小学生などが集団で農村などに避難したことを何というか。 []



3 〈現代の日本と世界〉次の問いに答えなさい。

- (1) 右の図は、第二次世界大戦後に行われたある民主化政策による変化を表している。この民主化政策は何か。 []
- (2) 軍国主義を支えたとして、第二次世界大戦後の民主化によって解体されたものは何か。 []
- (3) 第二次世界大戦後に始まったアメリカとソ連を中心とする2つの陣営の対立を何というか。 []



- (4) 1950年におこり、日本に特需景気をもたらした戦争を次から1つ選びなさい。 []
- ア イラク戦争 イ ベトナム戦争 ウ 朝鮮戦争 エ 第四次中東戦争
- (5) サンフランシスコ平和条約に調印した当時の日本の首相はだれか。 []
- (6) 日本の国際連合加盟と同年の1956年に日本が国交を回復した国はどこか。 []
- (7) 日本の高度経済成長が終わるきっかけとなった、1973年におこった世界的な経済の混乱を何というか。 []

特訓問題

1 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。

〈青森〉

<p>A</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>始まる (は)</p> <p>民主化</p> <p>あ</p> <p>解体</p> </div>	<p>B</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>高度経済成長期 (こ)</p> <p>増える</p> <p>国民総生産</p> </div>	<p>C</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東西の (と)</p> <p>厳しい対立</p> <p>ベルリンの壁</p> </div>	<p>D</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>皆で支える (み)</p> <p>い</p> <p>保険制度</p> </div>
---	---	--	--

(1) Aの「あ」には、金融・貿易・鉱山業などの多角経営を行い、第二次世界大戦前の日本経済を支配した資本家とその集団を表す語句があてはまる。その語句は何か。

[]

(2) Bの高度経済成長期について、次の問いに答えなさい。

① 当時の日本国内の様子について述べた文として適切なものを、次から1つ選びなさい。 []

- ア 内閣が1つの政党ではなく、複数の政党から組織されることが多くなった。
- イ 水俣病などの公害が深刻化し、各地で公害追放の住民運動がおこった。
- ウ インターネットの利用が増加し、オンライン・ショッピングが普及した。
- エ 行政改革がさげばれ、効率化をはかるためのさまざまな取り組みが進められた。

② 日本の高度経済成長は、ある資源の価格上昇がきっかけで終わりをむかえた。ある資源とは何か。

[]

(3) Cについて、第二次世界大戦後から続いた、ソ連を中心とした東側陣営と、アメリカを中心とした西側陣営との厳しい対立を何というか。

[]

(4) Dは、少子高齢化の進行に対応するため、2000年4月から実施された保険制度を表している。「い」

にあてはまる語句は何か。 []

2 次のカードを見て、あとの問いに答えなさい。

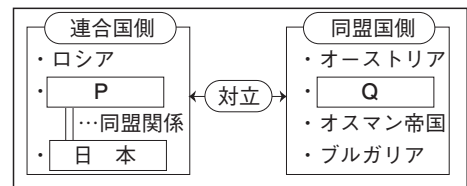
〈福岡〉

<p>A デモクラシーと世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的な政党内閣が成立する。 ・ a 大戦が始まり、好景気(好況)となる。 	<p>B 民主化と経済成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が施行される。 ・ b 高度経済成長が始まる。 	<p>C 近代国家の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動が広がる。 ・産業革命が始まる。 	<p>D 世界恐慌の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五・一五事件がおこる。 ・ c 不景気(不況)が農村に打撃を与える。
--	--	---	---

(1) 次の①、②に最も関係があるカードをそれぞれ選びなさい。

- ① 自由党や立憲改進黨がつくられた。 [] 図
- ② 女性の選挙権が初めて認められた。 []

(2) 図は、下線部 a の大戦中の国際関係の一部を示している。図の P にあてはまる国名は何か。また、Q にあてはまる国について述べた文を、次から1つ選びなさい。

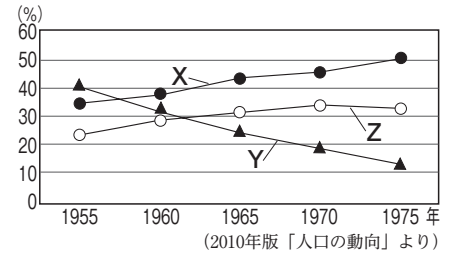


P [] Q []

- ア 講和会議で、大統領が国際連盟の設立を提唱した。
- イ 大戦中に革命がおこり、社会主義国家が成立した。
- ウ 大戦後、ワイマール憲法が制定された。

- (3) 資料は、下線部bの時期の産業別就業人口の割合の変化を示している。X～Zのうち、第一次産業と第三次産業を示しているものをそれぞれ選びなさい。

資料



- 記述 (4) 下線部cについて、その原因の1つを、「アメリカ」、「生糸」の語句を用いて簡単に説明しなさい。
[]
- (5) 右のカードは、A～Dを時代が古い順に並べたとき、どのカードの間に入るか、前のカードと後のカードを答えなさい。

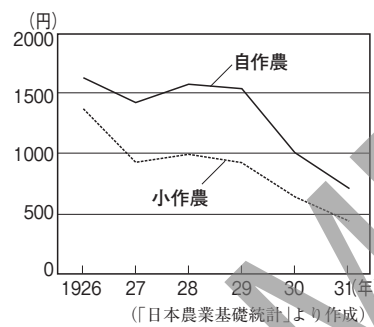
前[] 後[]

国民生活の統制

たいせいやくせんかい
 ・大政翼賛会が発足する。
 ・生活必需品が配給制になる。

- 3 次の資料1は1926年から1931年の日本の農家の収入の推移を、資料2は1926年と1931年における各国の輸入品に対する税率を示したものである。資料1、資料2の両方と関係が深いできごととして最も適当なものを、あとから1つ選びなさい。〈大分〉 []

資料1



資料2

国名	1926年の税率 (%)	1931年の税率 (%)
イギリス	4.0	※10.0
フランス	12.0	38.0
ドイツ	12.0	40.7
日本	16.0	24.0
アメリカ	29.0	53.0

※イギリスのみ1932年の統計 (「Global Transformations」より作成)

- ア 国家総動員法が制定された。
- イ 農地改革が行われた。
- ウ 関東軍が満州国を建国した。
- エ 学童の疎開が始まった。

- 4 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。

〈岩手〉

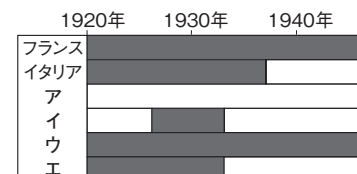
資料1 国際連盟

第一次世界大戦後、バルサイユ条約が結ばれ、国際連盟が誕生し、日本は、常任理事国になった。

資料2 独立の回復

第二次世界大戦後、日本は、サンフランシスコ平和条約により、独立を回復した。

- (1) 資料1について、右の図は、主な国の国際連盟への加盟期間を 〇 で示している。図中のア～エには、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本のいずれかがあてはまる。図
アメリカと日本はどちらか、それぞれ選びなさい。

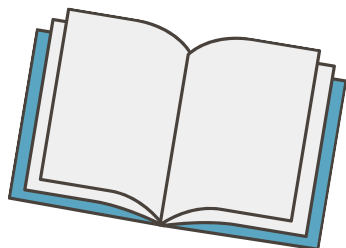


- (2) 資料2について、日本がサンフランシスコ平和条約を結ぶと同時にアメリカと結んだ条約は何か。 []

紙面サンプルはここまでです。
弊社教材サンプルをご覧いただき
ありがとうございます。

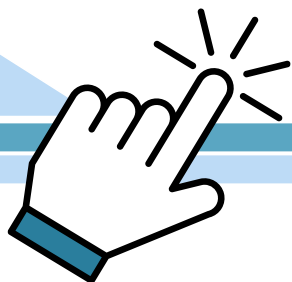
塾・学校の先生限定サイト

Bunri Teachers' Site へのご登録で、
全ページ版をご覧いただけます。



登録無料で、他にも便利な機能がたくさん！
ぜひお役立て下さい。

Bunri Teachers' Site
会員登録はこちら



※ご登録には弊社発行の招待コードが必要です。

教材サポート

単元テスト、指導用資料、
学習サポートアイテムなど
指導をサポートするコンテンツ



最新の教育情報

社会時事問題、高校入試分析、
教科書採択情報など最新の
教育に関する情報をお届け



各種教材やテストの お問い合わせ・お申込み

生徒さま一人一人に合った教材・
テスト・デジタルコンテンツを
ご提案



※Bunri Teachers' Siteは、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

ユーザー登録していただくことで、会員限定の詳細情報をご覧いただくことができます。
本サイトは一般の方のご利用をお断りしております。予めご了承ください。

お問い合わせフォーム



招待コード発行や教材の内容・ご購入方法等
お気軽にお問い合わせ下さい。